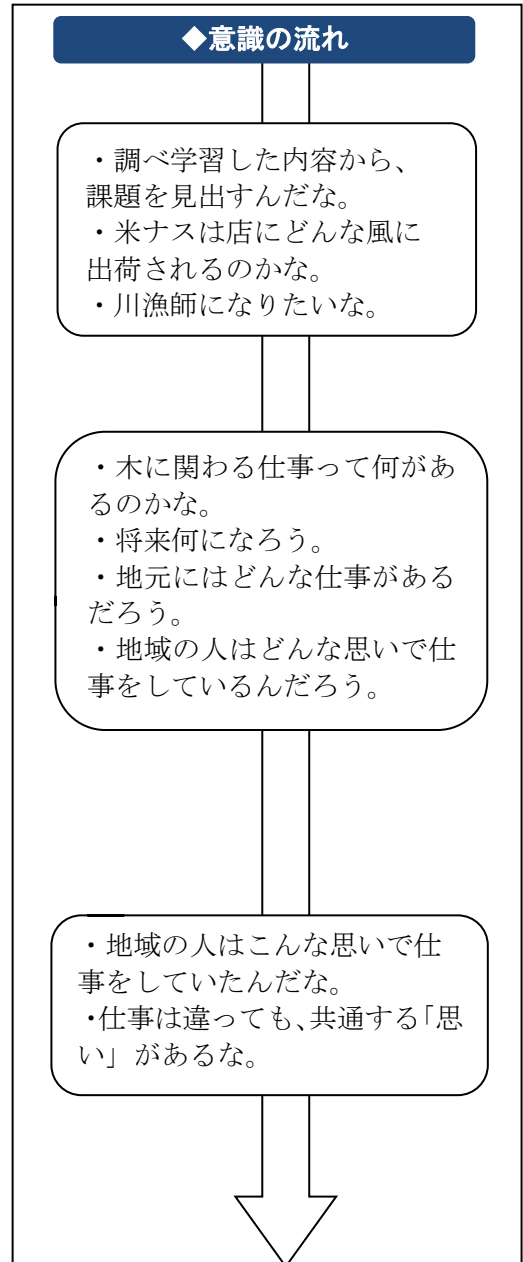
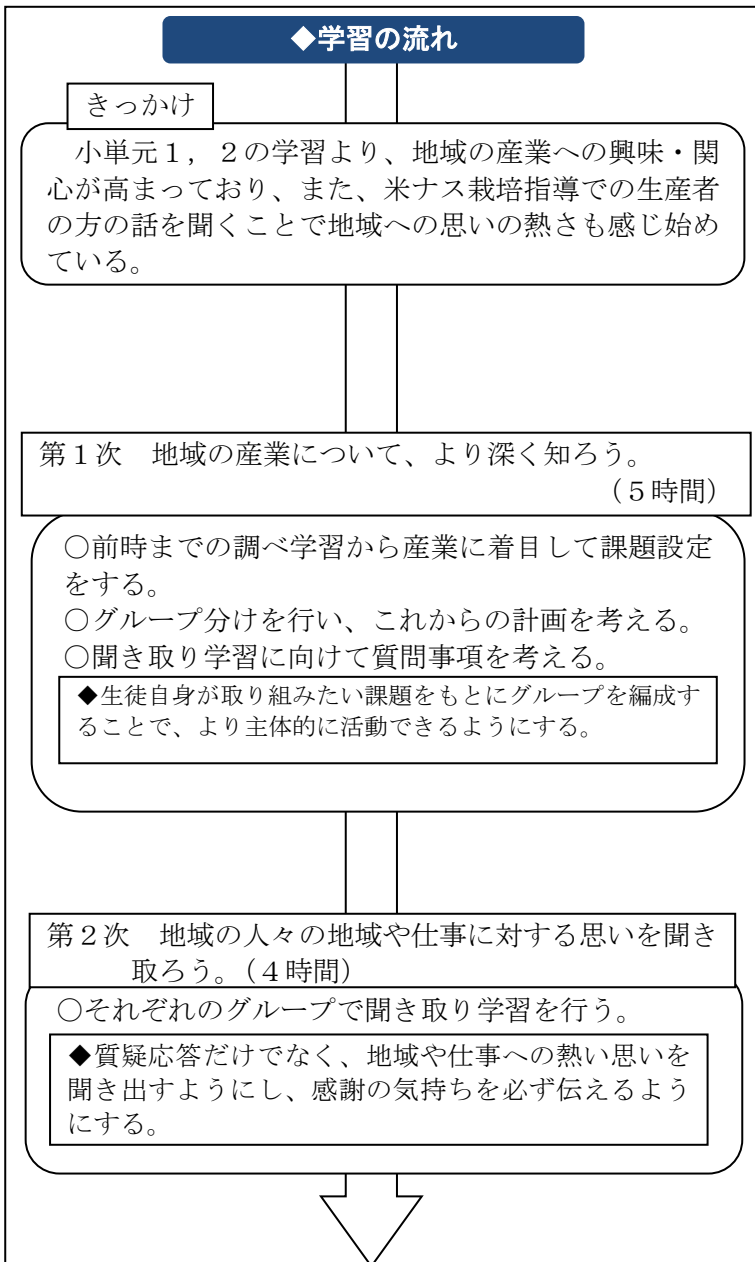
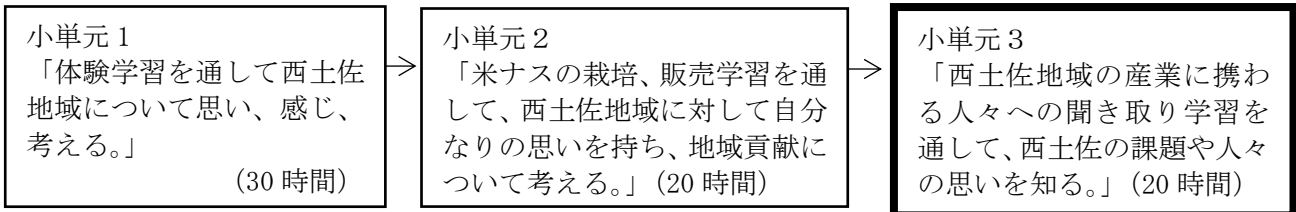


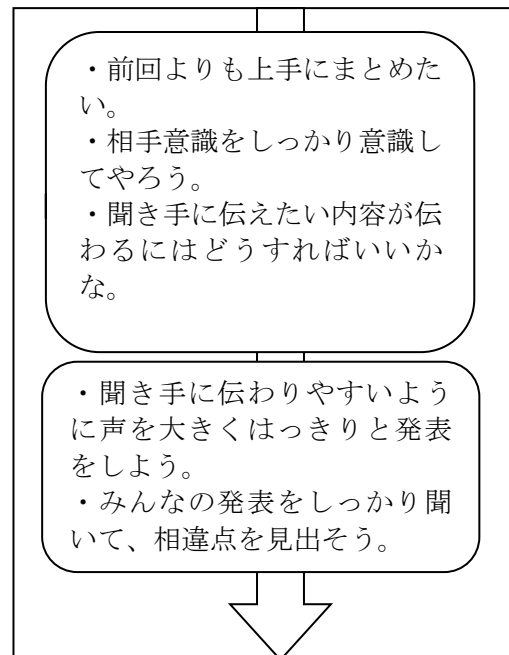
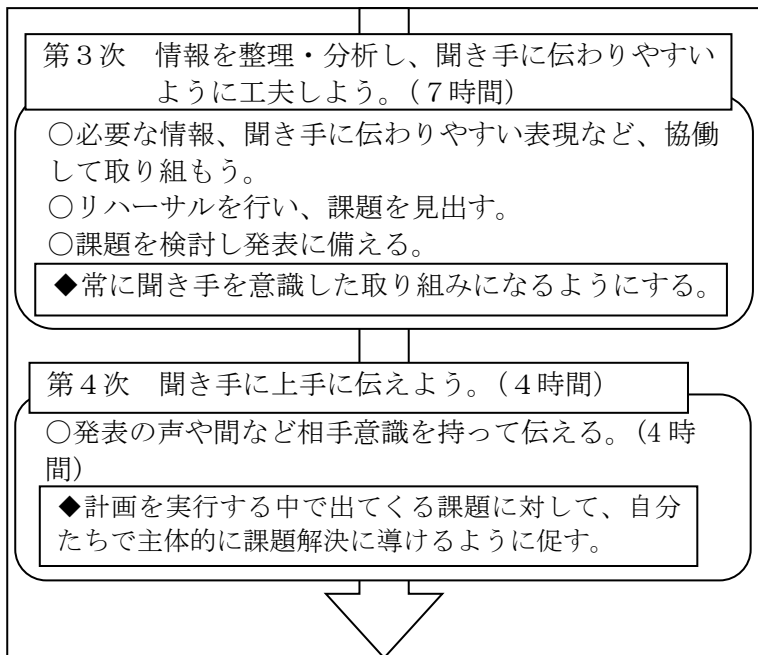
西土佐中学校 第2学年 総合的な学習の時間 学習指導案

令和3年11月11日(木) 第6校時
 生徒数 16名
 指導者 井上 忠和
 下打 健生
 兼松 成
 和田 紗季

1 単元構想図

単元名「仕事発見～地域貢献と私の未来～」 全70時間
 小単元3「西土佐地域の産業に携わる人々への聞き取り学習を通して、西土佐の課題や人々の思いを知る。」(20時間)





単元でつきたい力

- ・地域の産業における課題や取組を知り、それに関わる人々の思いや工夫が分かる。【知識及び技能】
- ・自分を取り巻く社会の現状を踏まえ、地域や自分の課題を発見し、解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てる。【思考力、判断力、表現力等】
- ・自分の生き方とよりよい社会の実現を関連付けて考えようとする。【学びに向かう力、人間性等】

2 単元について

○単元観

本単元は、3年次で行う職場体験へのつながりを踏まえ、小単元1、2での学習の流れから、生徒一人一人が関心のある職種について、仲間と協働して探究活動を行っていく中で、地域の産業の課題や地域の人々の思いを知り、地元西土佐に対する興味・関心を深め、自分自身の将来の仕事（生き方）について真剣に考えていこうとする態度を育成することができる教材である。

西土佐地域は中学校区が広域にわたり、スクールバスも複数本あるが、本校からの徒歩圏内に職場体験学習受け入れ可能な職場が多数あり、短時間で聞き取り学習など容易にできる環境にある。また、地域の方々の協力・支援体制は素晴らしく、こちらの期待以上の思いと行動で受け入れてもらえる。そんな恵まれた環境であるからこそ、仕事に関してだけの聞き取り学習に終わらず、触れ合う人々の仕事や地域への思いなどまで深く感じて、今後の生き方を考える良い機会とさせたい。

○生徒観

本学級の生徒は、米ナス栽培において生産者の思いを聞く機会があり、また1学期の国語の学習で「将来の仕事」について調べ、発表することもあったことから、休み時間などに友だち同士で仕事に関して話題になるなど仕事への興味・関心は高まってきている。ただ、日常生活の中でも自分事として捉えること、相手意識を持って発表することに学級として課題があり、いかにしてその点を改善できるか、試行錯誤しつつ取り組んでいるところである。

総合的な学習の時間授業評価アンケートでは、「総合的な学習の時間は楽しい。」「総合的な学習の時間で取り組んでいる課題を、自分のこととして考えている。」93.8%、「総合的な学習の時間では、自分から積極的に話しかけたり、発言したりしている。」「総合的な学習の時間では、自分の考えが他の人に伝わるように、理由や根拠をつけて説明している。」81.3%など、概ね肯定的な割合が高く、「総合的な学習の時間」に意欲的に取り組んでいる様子がうかがえる。ただ、「地域や社会をよくするために何をしたらよいか考えたことがある」43.8%、「社会人になっても、自分の地域や高知県のためになる仕事がしたい。」50.0%と、地域貢献への意識が弱い傾向が出ている。

○指導観

本単元では、地域の産業や仕事に焦点をあて、実際に地域の方々への聞き取り活動を行う中で、地域の産業の課題を考え、自分にできること、そして将来の自分の姿を思い描き、自分の生き方を積極的に考えていこうとする態度を育成することで、3年次での職場体験学習へとつなげていく。小単元1では、堂が森登山やカヌー体験などの自然体験活動や、西土佐地域が栽培・販売に力を入れている米ナス栽培を通して気付いたことや不思議に思ったことなどをもとに、5グループ（ナス料理、四万十川の生き物、木、森の生物、生物の進化）に分かれ、インターネットを活用して調べ学習を行った。まとめの発表では、新たに導入されたタブレットを各自が用いてスライドを作成し、グループごとに役割分担を行って発表することができた。

小単元2では、「米ナス」の栽培・収穫・販売を通して、様々な人々と関わり合い、仕事に従事する人々の思いを知ることで、自分の将来の仕事（生き方）について積極的に考えようとすることをねらいとして学習した。その活動の中では、修学旅行での販売学習を行った。自分たちが育てた米ナスや地元の名産品を販売することで地元愛が芽生え始めたように思われる。また、すでに小単元3第1次の課題設定を終えていることから、自分たちの販売学習を仕事として捉え、考えることもできたのではないだろうか。

本小単元（小単元3）では、将来自分自身が「働く」ことを念頭に置き、来年度の職場体験の事前学習として、常に自分事として捉えられるよう随所で個人思考を取り入るとともに振り返りのコメントにも配慮を行っていく。

3 単元の目標

西土佐地域の産業に携わる人々への聞き取り学習を通して、西土佐の課題や人々の思いを知り、自分の将来の仕事（生き方）について積極的に考えることができるようにする。

4 単元の評価規準

知識・技能 【知】	思考・判断・表現 【思】	主体的に学習に取り組む態度 【態】
①地域の産業における課題や取組を知り、それに関わる人々の思いや工夫が分かる。 ②インタビューなどの調査活動を相手や場面に応じた方法で実施している。 ③地域の産業について探求することを通して、身の回りの物事に対しても深く考えることができるようになる。	①自分を取り巻く社会の現状を踏まえ、地域や自分の課題を発見し、解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てる。 ②西土佐地域の産業に携わる人々への聞き取り学習を通して、必要な情報を収集している。 ③集めた情報を比較・分類し、自分の将来と関連付けて考えている。 ④伝える相手や目的に応じて、伝え方を工夫しながらまとめ、表現している。	①探究的な活動を通して、自他のよさを生かしながら協働して学び合おうとしている。 ②地域との関わりを通して、地域のために自分ができることを見つけようとしている。 ③自分の生き方とよりよい社会の実現を関連付けて考えようとする。

5 指導と評価の計画（全20時間 本時 5/20）

次	時	ねらい（○）と学習活動（・）	評価の重点			評価方法
			知	思	態	
一	1 5 3	○自分の意見をしっかりと持ち、自分の将来を考える。 ・前時までの学習を振り返る。産業に着目して課題設定をする。（1） ・グループ分けを行い、これからの計画を考える。（1） ・インターネットを用いて事前に調べ学習を行う。（1）		①	①	・ノート ・行動

	4	○自分自身の考え（仕事や地域について）を確認する。（1）		①		・ノート ・行動
	5	○仕事内容だけではなく仕事や地域への思いを聞き取れる質問を考える。 ・聞き取り学習に向けて質問事項を考える。（1） （本時）		①		・ノート ・行動
二	6 5 9	○意欲的な姿勢で臨み、相手の話をきちんと聞く。 ・それぞれのグループで聞き取り学習を行う。（4）	②	②	②	・ノート ・行動
三	10 5 14	○情報の整理を行い、仕事や地域への思いを中心に、学級みんなに伝えたいこと大切なことのみを抽出する。 ・必要な情報、相手に伝わりやすい表現など、協働して行う。（5）	①	③ ④		・ノート ・行動
	15	○相手意識に着目し、互いの意見から課題を見つける。 ・リハーサルを行い、発表内容や方法など聞いてもらう相手（学級）に伝わりやすいか課題を見出す。（1）	②			・ノート ・行動
	16	○リハーサルから見つかった課題を自分たちで改善する。 ・課題を検討し発表に備える。（1）	③			・ノート ・行動
四	17 5 20	○自分たちの考えや思いなど伝えたいことが学級のみんなに伝わるための工夫を実行する。 ・聞いてもらう人に対して発表の声や間など相手意識を持って伝える。（4）		④	③	・ノート ・行動観察

